

教文研・平和教育部 実践講座のお誘い

「8・6, 8・9」平和学習実践に向けて ～被爆体験に学ぼう～

ロシア軍によるウクライナ侵攻が始まって、3カ月が過ぎました。プーチン政権は、ウクライナの人々が生活するアパートや学校・病院・避難している劇場を爆撃して、数多くの命を奪っています。更に、プーチン大統領は核兵器の使用さえ主張しています。

ウクライナ侵攻を受けて、日本では「核共有」政策（安倍元首相）や非核三原則の見直し（高市自民党政調会長）が、浮上しています。核廃絶を訴え続けている被爆者からは、怒りの声が上がっています。今回の講座では、被爆者の方に、体験や思いを話していただきます。そのお話を、平和学習の実践に活かしていきましょう。

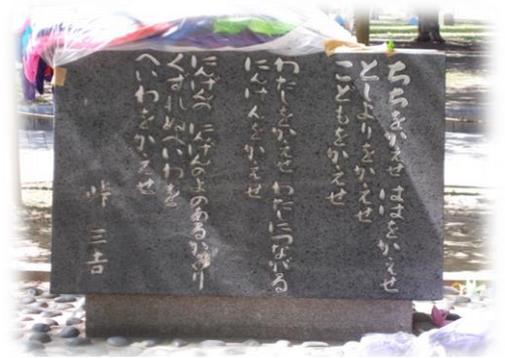
是非、ご参加ください。

1. 講演：島野 道次さん 被爆体験談
2. 意見交流

講師紹介

島野 道次さん(折り鶴の会)

14才の時、広島軍需工場で作業中に被爆。91才の現在も、精力的に証言活動をされている。



峠 三吉の詩碑（平和公園内）

日時：6月28日（火）

開始 18:30

終了 20:00

場所：市教組 東部事務所



東区馬出4丁目2番17号

問い合わせ：092-631-4646

※新型コロナウイルスの感染状況により、延期あるいは中止する場合があります。なお、中止する場合は、福岡教育文化研究所のホームページ（<http://kyobunken.jp/>）でお知らせします。

※感染予防のため、マスクの着用と発熱の自己チェックをおねがいします。

福岡教育文化研究所・平和教育部主催